

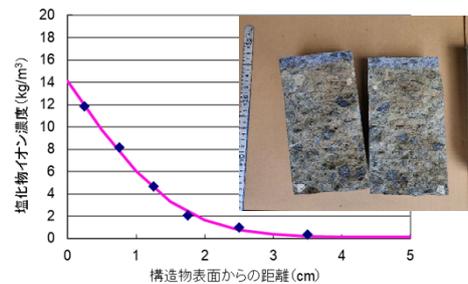
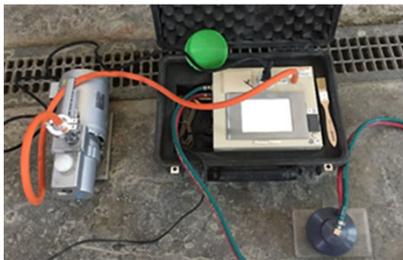
産学官の連携で安心・安全な暮らしの確保

～包括的連携・協力に関する協定～

「コンクリート構造物の表層品質と塩化物イオン浸透性に関する検討」について、広島大学にて委託研究を行っています。

包括的連携・協力に関する協定書にもとづき、令和4年8月から令和6年3月までの予定にて、広島大学との委託契約により本研究を行っています（研究代表者 半井健一郎教授）。

インフラを構成するコンクリート構造物は高耐久・長寿命であることが求められていますが、特に塩害環境ではコンクリート中への塩化物イオンの浸透に伴う劣化が問題となっています。そこで本研究では、塩化物イオンの浸透性に関して、非破壊試験によって測定可能なコンクリートの表層品質との関係を分析し、完成したコンクリート構造物の高耐久化・長寿命化を確実にするための検討を行っています。



コンクリート構造物の表層品質（表層透気係数）を非破壊試験で測定するとともに、採取コアにて塩化物イオンの浸透性を評価し、両者の関係性を分析